



Japanese  
Red Cross  
Tokushima

 **日本赤十字社** 徳島赤十字病院  
Japanese Red Cross Society

〒773-8502 徳島県小松島市小松島町字井利ノ口103番  
TEL : 0885-32-2555 FAX : 0885-32-6350  
E-mail : kensyui3@tokushima-med.jrc.or.jp  
<https://www.tokushima-med.jrc.or.jp>

[Instagramでチェック](#)



**病院見学**

随時見学を受け付けています。  
病院ホームページより希望の日時と希望診療科をご連絡下さい。

当院WEBサイトの「病院紹介」動画、  
「研修医」ページをご覧ください。



**徳島赤十字病院**

初期臨床研修プログラム

**2027**

# MESSAGE



研修管理委員長

## 院長 後藤 哲也

徳島赤十字病院の研修プログラムは、研修医のニーズに応じて毎年進化し続けています。例えば、当院の全身麻酔の手術数（100床あたり）は常に全国のTop10にランクされており、外科系の研修は非常に充実していますが、夜間の緊急手術も多く外科ローテイト中のオンコールが負担に感じられるケースもありました。そこで、外科のローテーションに複数の選択肢を用意し、ガッツリ研修したい場合は、心臓血管外科（血管内治療を含む）・整形外科・脳神経外科など、そして、外来も含めてじっくり専門的な研修を体験したい場合は、乳腺外科や泌尿器科・眼科・頭頸部外科などを組み入れるアレンジが可能です。内科系の研修においては、呼吸器内科を必須に追加し、さらに腎臓内科（透析も含む）、脳神経内科（主としてvascular neurology）も必修である内科のローテイト期間内に回ることができず。救急科は、当院の高度救命救急センターとICU/救命救急病棟を研修の場として、多職種参加のウォーキングカンファレンスや毎日の振り返り・フィードバックで実践力をつけることができます。2025年度は県外の高度外傷センターから外傷専門医が着任し、トラウマコードの確立など外傷診療のレベルが一段と上がりました。2026年度にはさらに新しいスタッフの加入が予定されており、集中治療研修の充実も進めてまいります。選択科目では、心エコー・内視鏡などの手技に特化した研修や、病理、臨床検査医学、災害医療救護などユニークな科目を自由に選択することができます。

当院は病床数405床とコンパクトな総合病院ですので、各診療科の垣根が低くコンサルテーションが容易であり、また、看護師をはじめ全てのメディカルスタッフの士気が高く非常に仕事がやりやすいことが特徴です。一方、病床稼働率が高く、平均在院日数も8.9日と非常に短いことから、600床以上の病院に匹敵する新入院患者数がありますので、先輩方の屋根瓦に守られながら数多くの症例を経験できます。また、忙しい中にもゆったりとしたご自分の時間を確保できるような心配りも忘れていません。このように当院の研修プログラムは、すべて研修医を第一に考えられています。皆さんが、医師そして人間として成長していくための場として、徳島赤十字病院の研修を選んで下さることを願っております。

徳島赤十字病院は、徳島県全体の急性期救急医療の中核を担う病院として、2次救急だけでなく3次救急にも対応しています。そのため、ワークインの軽症疾患から、処置・緊急手術を要する重症疾患まで、幅広い症例を経験することができます。

研修プログラムでは、指導医からの助言や研修医の要望を取り入れ、多くの診療科を選択できるよう工夫しています。研修時期や研修科の変更にも柔軟に対応しており、令和8年度からは内科プログラムに呼吸器内科を必修として追加しました。

地域医療も県内多くの施設と連携しており、希望する施設での研修が可能です。また、県外の赤十字病院との連携もあり、感染症科や脳神経外科など研修内容はもちろん、研修後の交流会も大変人気があります。

さらに当院では、「働きやすさ」や「仕事とプライベートの両立」にも力を入れています。働き方改革を積極的に取り入れ、健康的に働ける環境づくりを推進しています。夜間当番の日は、その日の日勤と翌日が休日となります。また、4週間以上の研修がある診療科では、1日の休暇取得も認めています。研修医の皆さんにはオン・オフをしっかりと区別し、プライベートも充実させていただきたいと考えています。

病院行事としても、いろいろなサークルを通じて職員同士の交流を深められるほか、サマーパーティー、歴代研修医同窓会、阿波踊り、忘年会など多くの楽しいイベントがあります。充実した研修を行いながら、仲間や指導医、その他職員との交流を深め、楽しく有意義な初期研修を過ごしていただきたいと思います。当院は全職員が全力で研修医の皆さんをサポートします。

ぜひ当院で、医師としての第一歩を踏み出してください。



プログラム責任者

## 副院長 別宮 史朗

## 病院概要

### 私たちは断らない医療を実践し、みなさまの健康と尊厳をお守りします。

#### 基本方針

- いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先し、病める人々とそのご家族の健康と尊厳をお守りします。
- 医療安全を第一に、質の高い先進医療を提供します。
- 高い専門性を希求しながらも、救急医療を原点としてとらえ、すべての患者さんを受入れます。
- 地域の医療ネットワークを生かし、互いの力を結集し、安心して暮らせる社会づくりに貢献します。
- 赤十字としての自主性を保ちながら、国内外の災害救護活動に積極的に取り組みます。
- 教育研修を推進し、将来を担う人間性豊かな医療人を育成します。
- 相互扶助を組織の文化として、人にやさしく働きがいのある病院を目指します。

これらの品質方針に適合した病院運営を行う為に、品質マネジメントシステムの有効性を検証し、継続的に改善していきます。

#### 研修理念

徳島赤十字病院は医師としての人格を涵養し医学及び医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ将来専門とする分野にかかわらず幅広い臨床能力（知識・技術・態度・総合判断力等）を身につけ、チーム医療の一員としてその役割を理解しチームメンバーと協力しながら全人的態度で医療を提供できる医師を全職員で守り育てます。

#### 2024年度実績

新入院患者数（1日あたり）	37.8人
在院患者数（1日あたり）	336.1人
平均在院日数	8.9日
病床稼働率	92.3%
外来患者数（1日あたり）	721.7人
新患者数（1日あたり）	104.5人
初診の紹介率	89.0%
救急患者数	13,605人 （うち、救急搬送4,894人）
手術件数（手術室稼働件数）	5,836件 （入院5,187件、外来649件）

#### 特殊機能

基幹型臨床研修指定病院  
地域医療支援病院  
高度救命救急センター  
地域がん診療連携拠点病院  
災害拠点病院（地域災害医療センター）  
地域周産期母子医療センター  
へき地医療拠点病院  
臓器提供施設  
小児救急医療拠点病院  
紹介受診重点医療機関

#### 病床数

一般405床（うちICU12床、救命20床、無菌17床）

#### 職員数

1,147名（パート含む）

#### 標榜診療科

内科、血液内科、糖尿病・内分泌内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、腎臓内科、呼吸器内科、小児科、外科、乳腺外科、呼吸器外科、消化器外科、精神科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、頭頸部外科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、麻酔科、救急科

#### 主な医療設備

手術支援ロボット、ハイブリッド手術室、PET-CT、ADCT（320列）、MDCT（64列）、MRI（3.0T、1.5T）、DSCT（128列）、アンギオ装置（バイブレイン）5台、放射線治療装置（リニアック）、SPECT-CT装置など

# プログラムの概要

救命救急医療および地域医療支援の特殊機能を活かし、多くの急性期疾患と救急疾患の初期治療を行える能力を習得します。



★ 一般外来研修4週間 並行研修含む

**内科 ※1** 24週間：内科、血液内科、糖尿病・内分泌内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科  
4週間：上記に加えて腎臓内科（透析）、脳神経内科から選択

**外科 ※2** 6週間：外科  
4週間：外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、心血管外科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科から選択

**選択科 ※3** 内科、血液内科、糖尿病・内分泌内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、腎臓内科(透析)、脳神経内科、外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、心血管外科、泌尿器科、小児科、形成外科、小児外科、皮膚科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、麻酔科、救急科、検査部

## ■プログラム例

1年次	24週						
	内科						
	6週	12週		4週	4週		
	外科	救急		内科(選択)	外科(選択)		
2年次	進路希望 内科 (循環器内科)	4週	4週	4週	選択科 4週	4週	選択科 4週
		呼吸器内科	産婦人科	精神科	放射線科	地域医療	院外連携施設 (選択科)
		4週	選択科 4週	選択科 4週	選択科 4週	選択科 4週	選択科 4週
	進路希望 外科	小児科	検査部(心エコー)	心血管外科	麻酔科	循環器内科	循環器内科
		4週	選択科 4週	4週	4週	4週	4週
		麻酔科	心血管外科	地域医療	小児科	精神科	産婦人科
	進路希望 産婦人科	選択科 4週	選択科 4週	選択科 4週	選択科 4週	選択科 4週	選択科 4週
		院外連携施設 (選択科)	呼吸器内科	救急科	外科	外科	外科
		4週	4週	4週	4週	4週	選択科 4週
選択科	糖尿病・内分泌内科	産婦人科	小児科	精神科	地域医療	産婦人科	
	選択科 4週	選択科 4週	選択科 4週	選択科 4週	選択科 4週	選択科 4週	
	皮膚科	放射線科	院外連携施設 (選択科)	麻酔科	産婦人科	産婦人科	

※将来の志望科に合わせて自由なプログラムを作ることが出来ます。

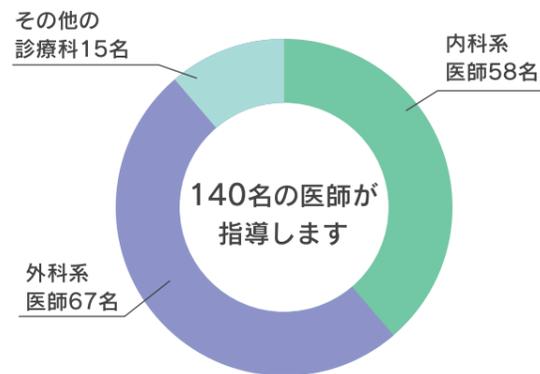
## 協力施設

- 地域医療** 碩心館病院、ホウエツ病院、近藤内科病院、江藤病院、木頭診療所、上那賀病院、勝浦病院、海南病院、美波病院、小松島金磯病院
- 精神科** 城南病院、藍里病院、TAOKAこころの医療センター、徳島大学病院(精神科)
- 地域保健** 徳島保健所、吉野川保健所、阿南保健所
- 選択科** 旭川赤十字病院(脳神経外科)、大阪赤十字病院(呼吸器内科)、武蔵野赤十字病院(感染症科)、松山赤十字病院(消化器内科)、高松赤十字病院(呼吸器内科)、徳島大学病院(呼吸器・膠原病内科、消化器内科、血液内科、内分泌・代謝内科)、川島病院(腎臓内科)、亀井病院(緩和医療)、小松島天満クリニック(内科)、博愛記念病院(内科)、小松島病院(内科)、徳島赤十字ひのみね医療療育センター(小児科)

# 教育体制

## 01 充実した指導体制

当院では、common diseaseを中心として、多岐にわたる疾患を経験することができます。それぞれの科に指導医も多く在籍しているため、各科をバランスよく学ぶことができます。また、屋根瓦方針を基本にマンツーマン要素を取り入れており、若手医師の層も厚くコンサルトしやすい環境です。



- ★プログラム責任者講習会修了者数 6名
- ★指導医数 110名 (7年以上の臨床経験を持つ医師)
- うち臨床研修指導医養成講習会修了者数 91名

2025年4月1日現在

## 02 県内トップクラスの手術件数、最新の医療技術

総手術件数や全身麻酔件数は徳島県でトップクラスの件数を誇ります。また、四国初となる経皮的左心耳閉鎖術（WATCHMAN）をはじめとした最先端の医療技術を推進しています。

- 総手術件数 5,836 件
- 全身麻酔件数 4,149 件
- 消化管内視鏡検査・手術等 9,691 件
- 心臓カテーテル検査・治療等 3,386 件

## 03 ER研修

当院は、高度救命救急センターでありながら、県内の救急患者を1次から3次まですべてに対応します。そのため内科系・外科系を問わず、数多くの症例を経験でき、実践力を身につけながら着実にレベルアップを図ることができます。ドクターカーは、平日9～17時で運行しており、希望があれば同乗し、病院前救急診療の研修も経験できます。

- 救急搬送受入件数 4,894 件
- ドクターカー出動件数 326 件
- ドクターヘリ受入件数 91 件

## ■ スキルラボ・シミュレーション教育が充実

シミュレーターなどを用いて医療技術の習得を図るための施設「スキルラボ」が、24時間いつでも使用できます。救命救急処置並びに外科的処置など様々なトレーニングを行うことが可能、ICLS, ACLS, BLSなども行われます。



- 腰椎・硬膜外穿刺シミュレーター
- 内視鏡外科手術用トレーニングボックス
- CVC穿刺挿入シミュレーター
- マイクロ手術練習用実体顕微鏡
- 関節鏡視下手術シミュレーター(肩・膝)
- 超音波診断装置 等があります。

# 研修医参加の研修会や勉強会

研修医対象の勉強会が多数あり、病院の職員全体で研修医の教育を行っています。各診療科の指導医による**コアレクチャー**や、災害時に的確なトリアージを行うための**トリアージ研修会**、研修医が企画・実施する**レジ勉**など多彩な研修会があります。また、ICLS、ACLS、BLS、緩和ケア研修は受講必須となっており、受講料も病院が負担します。

なお、月に1回、各診療科部長や上級医と研修医が研修内容について話し合う**研修医・指導医連絡会**を開催し、研修医から要望があれば適宜研修内容の見直しを行います。研修期間が充実したものになるよう専従の事務スタッフがサポートし、より良い研修を目指します。



研修医セミナー 11回/年



外傷セミナー 1回/年



CPC・RCPC 11回/年



細隙灯顕微鏡講習会 1回/年



内科マンスリーセミナー 12回/年



人工呼吸器セミナー 1回/年



皮膚縫合研修 3回/年



腰椎穿刺ハンズオン 1回/年



中心静脈穿刺講習会 1回/年

## クラブ紹介 いろいろなクラブを通して交流を深めています



テニス部



バレーボール部



野球部



バスケット部



バドミントン部



フットサル部

# 研修医の一日

## 救急科

ドクターカーによる病院前救急診療、救急外来(ER)での初期診療、ICUや救命救急センターでの重症患者診療、一般病棟での入院患者診療などを行う。

### 病棟回診

8:00

### 医師全体ミーティング

8:40

### ドクターカー、救急科カンファレンス

患者情報を救急科全体で共有

8:50

### 日替わりで病棟・ER業務を担当する

9:00

### ER当番 救急患者、Walk-in患者対応

病歴、身体診察を重視した診療を行います。一般診療で日常的にエコーを多用するため、エコーのスキルが上達します。



9:30

### 病棟当番 ICU、救命救急センター、一般病棟患者管理

**重症患者の集中治療:** 敗血症性ショック、重症外傷、中毒、心停止蘇生後症候群 等  
**多職種カンファレンス:** ICU・ERの入院患者について多職種合同でカンファレンス。医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、公認心理師、理学療法士等参加

一般病棟管理: Common disease、軽症外傷 等

10:00

13:00

### 救急科医師からのフィードバック

ERでの診療や、病棟管理での疑問点について指導医からフィードバックを受ける。その日の疑問はその日に解決!



17:00

## 消化器内科

消化管・肝胆膵疾患(消化管出血、消化器癌、炎症性腸疾患、肝炎、肝硬変、胆管炎・膵炎等)の入院患者を担当する。また、内視鏡検査やEMR・ESD・内視鏡的止血・ERCPなどの介助、希望に応じて放射線科と連携したTACEやRFAの見学を行い、消化器疾患全般の診断から治療までを経験する。

### 病棟回診

### 医師全体ミーティング



### チーム内夜間・休日申し送り

### 病棟回診

※上級医と共に回診し身体所見の取り方や画像・検査値の解釈を学び診療計画を立てる。

### 上部消化管内視鏡検査・ERCP

### 大腸内視鏡検査・EMR・ESD

※研修医も上部・下部消化管内視鏡検査やEMR・ESD・ERCPなどの介助に積極的に参加する。



### チームカンファレンス

曜日や時間帯によってはERで急患の初期対応や総合内科外来の担当、上級医からの内視鏡モデルを用いたレクチャーや腹部エコーの実技研修を行う。





研修医1年次 田村 圭吾  
(徳島大学卒)

私は見学や実習させていただいたことをきっかけに、当院での初期研修を希望するようになりました。救急車の受け入れ台数や手術・カテーテル治療の件数も多く、三次救急や集中治療を学びたい私にとって最適な環境であると感じました。実際に研修し始めてからもそう実感しています。セミナーや勉強会が多数行われることも魅力の一つです。特に、縫合や腰椎穿刺などの手技に関して、各科の先生が講習会を開催してくださり、手技の向上につながっています。学問的なところだけでなく、スポーツ大会やサマーパーティーなど楽しいイベントもたくさんあります。楽しみながら初期研修医としての経験値を積むことができる当院に、ぜひ見学にいらしてください。



研修医1年次 村田 晴輝  
(徳島大学卒)

当院は3次救急病院として徳島県南部の医療を支えるべく、日々多くの患者様と向き合っています。初期研修医の間にはできる限り多くの症例を経験し、成長したいと考えていた私にとってぴったりの病院でした。実際に救急症例のファーストタッチは研修医に任せられているため、現場で動力が身に付きます。また、常に上級医に質問をしたり、フィードバックを受けたりすることができる環境であるため、安心して成長できます。学生として実習や見学に訪れていた時から雰囲気の良いさに魅力を感じていましたが、実際に入職してから「研修医を一人前に育てよう」という温かい雰囲気のおかげで、日々実感しています。ぜひ見学に来て当院の良さを感じてください！

研修医1年次 吉田 莉奈  
(徳島大学卒)

3次救急病院の魅力は軽症から最重症まで幅広い疾患を経験することができる点です。どの科に進んでも夜勤で救急医療に携わる人が多いと思います。指導医の先生方と共に診療を行える初期研修の間に、多くのことを学ばせていただけるのは非常に恵まれた環境であると感じています。屋根瓦方式の指導体制であり、充実した教育環境が整っています。それぞれの目標や経験したい事があれば、最大限希望に沿っていただけます。また研修医室の環境も自慢の一つです。空き時間に勉強するもよし、先輩や同期と会話して気分転換をするのもよし、気を遣わずに自由な時間を過ごせる場所が与えられています。ぜひ一度徳島赤十字病院にいらしてください。一緒に充実した研修生活を送りましょう。



## 院外研修 希望の院外先で研修ができます



大阪赤十字病院 (呼吸器内科)



美波病院 (地域医療)



木頭診療所 (地域医療)



旭川赤十字病院 (脳神経外科)



武蔵野赤十字病院(感染症科)

## 年間行事 annual events

- 4 April 辞令交付式  
研修医・研修看護師合同技術研修  
日本赤十字社徳島県支部救護班要員研修会
- 5 May トリアージ実技研修会
- 6 June 院内災害医療訓練
- 7 July 医学部6年生に対する卒後臨床研修説明会  
サマーパーティー  
SUMMER臨床研修説明会
- 8 August 研修医同窓会  
阿波踊り
- 9 August 四国地区赤十字病院スポーツ大会
- 10 October 日本赤十字社医学会総会  
全国赤十字病院スポーツ大会
- 11 November 病院祭  
本社研修
- 12 December 忘年会
- 2 February 徳島大学医学部生に対する  
卒後臨床研修説明会
- 3 March 研修修了式



# 初期研修医から専攻医へ

## 基幹施設として3領域の研修プログラムを用意しています。

当院は、病院理念である“断らない医療”に基づき、県下で最も多くの重症救急患者を受け入れていますので、症例数が非常に豊富であることは論を俟ちません。さらに、トップクラスの技術と見識を持った指導医が熱心に指導する伝統があり、それを組織がハイブリッド手術室やラピッドレスポンスカーなどの先進医療体制を整備して支えています。私たちは、専攻医の皆さんが充実した研修の時を過ごしていただけるよう、全力でサポートすることを約束します。

### 内科

将来の消化器、循環器、糖尿病、血液等のサブスペシャリティに繋がる一般型コースに加え、当院の特徴を活かした循環器サブスペシャリティ重点型コースがあります。

### 整形外科

『地域医療に貢献できる幅広い知識と視野を持った整形外科医師』を到達目標としており、多くの救急外傷症例の他に、関節外科、スポーツ、脊椎、肩関節の症例を経験豊富な指導医のもと数多く研修できます。

### 救急科

「救急現場・蘇生・集中治療に特化するだけでなく、退院後の患者の生活を見据えて診療・病棟管理ができる救急医」を育成するためのプログラムです。ラピッドレスポンスカーを用いた病院前救急診療、ER診療、各診療科と協力して行う集中治療や一般病棟管理など、入院から退院まで一貫した診療を行います。提携している他県の救命センターで、短期研修を行うことも可能です。

### 修了後の進路

2025年3月 研修修了者	2024年3月 研修修了者	2023年3月 研修修了者
徳島大学病院 8名 四国こどもとおとなの医療センター 1名 医誠会国際総合病院 1名 大阪大学医学部附属病院 1名 徳島赤十字病院 1名	徳島大学病院 6名 東海大学医学部附属病院 1名 徳島赤十字病院 3名	徳島大学病院 4名 徳島県立中央病院 1名 兵庫県立はりま姫路総合医療センター 1名 愛媛大学医学部附属病院 1名 徳島赤十字病院 5名
2022年3月 研修修了者	2021年3月 研修修了者	2020年3月 研修修了者
徳島大学病院 8名 静岡県立総合病院 1名 亀田総合病院 1名 徳島赤十字病院 2名	徳島大学病院 6名 徳島赤十字病院 3名	徳島大学病院 6名 産業医科大学病院 1名 徳島赤十字病院 3名

### 指導医 Message

研修医としての2年間は、医師としての将来を大きく左右する特別な時間です。徳島赤十字病院は、県内唯一の高度救命救急センターを有する急性期病院として、年間を通じ多くの救急患者を受け入れ、専門疾患からCommon diseaseまで幅広い症例を経験できます。私自身は外傷外科を専門とする救急科指導医として、最高水準の救急・外傷医療を提供しながら、皆さんが確かな臨床力を身につけられるよう全力でサポートします。当院は「楽しく働けること」を大切に、医師として最高のスタートを切る理想的な環境です。ぜひ我々と共に成長し、共に頑張ってください。



救急科指導医  
蔵本 俊輔

2027年度

## 初期臨床研修医募集要項

募集定員	1年次 12名程度		
身分	研修医(常勤嘱託職員)		
給与	月収	賞与	年収
	1年次 約55万円 2年次 約57万円	約42万円 約94万円	約700万円 約780万円
	※月収に含まれるもの 深夜手当(22時間相当分)、住居手当、時間外手当(45時間相当分)		
勤務時間	交替勤務 日勤:8時40分~17時10分(休憩45分) 夜勤:16時30分~翌日9時(休憩60分)		
休日	土曜日・日曜日・国民の祝日(土・日・祝に勤務した場合は平日に休日を振り替える)、5月1日(日本赤十字社創立記念日)、年末年始(12月29日~1月3日)		
休暇	年次有給休暇 年間24日(夏休み3日含む)、 特別有給休暇(結婚・引等)		
社会保険	健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険		
福利厚生	健康診断(年2回)、各種予防接種、互助会(レクリエーション、サマーパーティ、忘年会等、各種クラブ活動:野球、バレーボール、テニス、フットサル、バスケットボール等)院内保育園、日赤グループ保険、日赤積立年金、学会・研修会等への参加補助有り(規定による)		
アルバイト	認めていません。 (医師法第16条の2、第16条の5、附属2病院臨床研修医設置規定)		
修了後の待遇	当院での専攻医を希望する者は選考の上、正規職員として採用します。		
応募資格	2027年3月卒業後医師免許取得予定者		
応募書類	履歴書・個人票(当院HPよりダウンロード) ※都道府県が設定した地域枠の奨学金を受給している場合は、その名称を履歴書に記載してください。 ※封筒に「研修医採用試験応募書類在中」と朱書きしてください。		
応募締切	2026年7月31日(金) 必着		
試験方法	小論文、面接		
試験日	2026年8月21日(金)、または2026年8月25日(火)のいずれか希望日		
合格発表	医師臨床研修マッチング結果に基づきます。		

